



**APU Japan
Business Case
Competition 2019
募集要項**

立命館アジア太平洋大学登録団体 **JBCC**
立命館アジア太平洋大学

目次

目次

1. APU Japan Business Case Competition 2019 開催にあたって
2. APU Japan Business Case Competition 2019 大会概要
3. 大会当日について
4. 大会ルールについて
5. 応募時の注意事項
6. 応募から大会当日までの流れ
7. 主催大学、開催地について
8. お問い合わせ先



1. APU Japan Business Case Competition 2019 開催にあたって

<趣旨>

APU Japan Business Case Competition 2019は学部生のためのビジネスケースコンペティションです。大分県別府市にある立命館アジア太平洋大学(APU)の学生団体「JBCC」によって運営されています。このコンペティションでは、実社会において企業が直面する問題を読み解き、企業において日常的に行われる経営分析や事業提案を行い、その能力を参加者に身につけてもらうことを目標にしています。また、グローバル化する現代において、学生に英語を用いる機会を提供し、社会で活躍できる人材の輩出も目指しています。

本大会で優勝したチームは2020年の「HSBC/HKU Asia Pacific Business Case Competition」へ、日本の大学の代表として参加をして頂きます。

<JBCC代表挨拶>



みなさんこんにちは。

JBCCの代表を務めております真田優斗です。

JBCCは、「日本の大学の教育レベル向上を目標に、国際的なケースコンペティションと日本の学生を繋ぐ架け橋」として2015年に設立されました。私たちは「ケースコンペティションを用いた実践的な教育手法を日本に導入する」、そして「国際ケースコンペティションを目指す学生を日本から輩出する」という大きな2つのミッションのもと日々活動してきました。

今年度は、HSBCグループ様と連携することにより、「国際的なケースコンペティションと日本の学生を繋ぐ架け橋」となる、という夢を実現することができ、JBCC実行委員会一同嬉しく思っております。

今年度より新たなビジョンとして「日本発、世界で活躍のできる人材の輩出」、ミッションとして、「ケースコンペティションを用いた実践的な教育手法の日本への浸透」と「国際ケースコンペティションへの出場を目指す学生の育成」を設定しました。これらの実現を目指し、実行委員会一同邁進していきます。これらのビジョン、ミッションの達成に向け、「APU Japan Business Case Competition 2019」では下記のような参加者を求めています。

- ビジネスに関する知識を身につけたい方、ビジネスの現状を学びたい方
- 大学の授業で学んだことを生かしたい方
- 留学経験などを活かし、英語力をより実践的な手段として活用したい方
- 国内トップレベルの大学対抗戦を通じ、実力を試してみたい方
- 学部在学中に国際ケースコンペティションへの出場を目指している方

2. APU Japan Business Case

Competition 2019 大会概要

- 開催日時： 2019年12月7日（土）～ 8日（日）
※12月6日（金）に開催地へ移動して頂きます
- 開催地： 立命館アジア太平洋大学（大分県別府市）
- 主催： 立命館アジア太平洋大学登録団体 JBCC
立命館アジア太平洋大学
- 協力： HSBCグループ
- 応募単位： メンバー（学部学生）4名 + コーチ 1名 計5人で構成されたチーム
※全員所属大学が同じであることが条件です。
- 参加チーム数： 9チーム
- 大会内容： ショートケース方式
（各、準備3時間・英語でのプレゼンテーション20分・英語での質疑応答15分）
全9チームで予選、勝ち進んだ3チームで決勝を行います。

参加にかかる費用：以下について無料

- 宿泊： 立命館アジア太平洋大学の寮施設（ドミトリー形式）
- 交通： 会場までの往復交通費
- 食事： 開催日程期間中（12月6日（金）夕食～12月8日（日）昼食まで）の食事
※宿泊や交通等に関する詳細は参加決定者に改めてご連絡いたします。

表彰

<優勝チーム>

- 2020年の「HSBC/HKU Asia Pacific Business Case Competition」への参加権。（原則として棄権は認められません。参加に係る交通費・宿泊費について、参加者の自己負担はありません。）
- 賞金50万円

<ベストスピーカー賞>

個人賞として、優れたプレゼンターには「ベストスピーカー賞」が贈られます。

参加者選考スケジュール

- | | |
|-----------|-----------|
| エントリー締切： | 10月11日（金） |
| 事前課題提出締切： | 10月18日（金） |
| 選考通過者発表： | 10月31日（木） |

3. 大会当日について

<ケースコンペティションの概要>

- 予選、決勝ともに1課題につき3時間の準備時間が与えられます。
- 予選の課題は2つあります。
- プレゼンテーション時間は20分、質疑応答が15分です。
- 予選の参加チームは9チーム、決勝は3チームで行います。

<大会期間中のスケジュール（予定）>

12月6日（金）

20：00～22：00 参加者受付（於：APU学生寮）

12月7日（土）

8：00～ 開会式・ルール説明

9：00～14：00 予選 ケース①、プレゼンテーション

14：00～14：30 休憩

14：30～19：30 予選 ケース②、プレゼンテーション

12月8日（日）

8：30～13：30 決勝ケース、プレゼンテーション

13：30～14：30 ランチ

14：30～15：30 閉会式



4. 大会ルールについて

- 大会中は主催者の指示に従ってください。参加者及びコーチの方々は、すべての規則を常に遵守しなければなりません。
- 準備からプレゼンテーション終了まで、携帯電話とすべてのモバイル通信デバイスは本部でお預かりします。また、全てのプレゼンテーションが終わるまで返却はできません。
- ケース配布後からプレゼンテーション終了まで、以下の指定された貸し出し物以外は持ち込みができません。

<参加者へ提供されるもの>

OHPシート（投影用）

3色のマーカー

ホワイトボード

電卓と定規

ペンと鉛筆

普通紙

※参考資料（主催者から提供された資料以外）の持ち込みや使用も不可です。

- ケース配布からプレゼンテーション終了までコーチとの接触は禁止です。
- 参加者はプレゼンテーション開始時刻の5分前には発表会場に集まってください。
- チームが発表にプレゼンテーションの時間に遅れた場合、追加の時間は提供されません。指定された開始時刻から10分以内にプレゼンテーションを開始できなかったチームは失格となります。
- メンバーがルール違反をした場合はチームが失格となります。
- 直前で1人のチームメンバーが病気やその他のやむを得ない理由で参加できない場合、チームメンバー3人で参加することができます。しかし、2人以上参加できない場合は失格となります。
- メンバー全員が発言をしなくてはなりません。病気等のやむを得ない理由以外で、少なくとも1回も発言を行っていないメンバーが居た場合、そのチームは評価の対象にはなりません。
- プレゼンテーションの準備と発表の時間は、主催者によって変更されることがあります。
- プレゼンテーション中などに天候悪化や地震などの自然災害、機材の故障などの問題が発生した場合、主催者の指示に従ってください。
- 緊急時の連絡はコーチを経由していただくことになります。保護者等、緊急時に連絡する必要がある相手には、事前にコーチ（引率者）の連絡先を共有しておいてください。
- 上記の規則にご質問がある場合は、主催者にお問い合わせください。



5. 応募時の注意事項

- すべての参加者は、応募時から大会参加時において、日本の大学におけるフルタイムの学部生でなければなりません。（留学生を含む）
- 特別聴講生、科目等履修生の方はフルタイムの学部生として認められません。
- チーム編成については、同じ大学の4人の学部生と1人のコーチで構成されている必要があります。同じ大学であれば学部やキャンパスの違いは問いません。
- コーチは所属する大学の教職員などとし、学生4名を引率することが必要です。また、コーチはチームのトレーニングができる方に限ります。
- 各参加者は2つ以上のチームに同時に所属することはできません。1人の参加者が複数のチームに所属して応募することはできません。
- 優勝したチームメンバーは「HSBC/HKU Asia Pacific Business Case Competition 2020」の決勝（例年、5月末もしくは6月上旬に実施）に出場していただきます。それまでに、卒業またはその他の理由で、在籍している大学の学部生でなくなるメンバーがいる場合、同じ大学に所属する新たなメンバー（学部生）を選出し、チームメンバーが4人揃った上でHSBC/HKU Asia Pacific Business Case Competition 2020に進むことが求められます。
- 過去のHSBC/HKU Asia Pacific Business Case Competitionに参加した学生は、本大会（APU Japan Business Case Competition 2019）に参加することはできません。
- 英語力に関しては、例年、TOEIC：700点 TOEFL iBT：60点 TOEFL iTP：500点 IELTS：5.5 英検：準1級相当の学生が参加しています。明確な基準は設けていませんが、1つの目安としてご活用ください。

6. 応募から大会当日までの流れ



1. ウェブでエントリーを行う <締切：10月11日（金）>
 - 以下のURLまたは右記のQRコードへアクセスし、必要事項を記入の上「送信」ボタンを押して下さい。
<http://urx2.nu/bpwU>
 - 20歳未満の方は、応募時に保護者の同意書が必要となります。
記載いただいた個人情報、本大会に関わる選考・運営に関する連絡でのみ利用し、他の目的で利用することはありません。
 - 大会参加決定後、メールにて保護者同意書を送付します。記入後、同意書をスキャンし、PDFにて主催者のメールアドレス (jbccexternal@gmail.com) へ送信して下さい。
2. 事前課題を提出 <締切：10月18日（金）>
 - エントリーをした方には、事前課題をチームで行っていただきます。提出していただいた資料を基に審査を行い、参加の可否を判定いたします。審査は立命館アジア太平洋大学の教員を中心とした選考委員会で決定します。
 - 事前課題は、ケースへの回答と、回答に基づいたプレゼンテーション動画の提出です。
 - ケースは大会時に使用するケースに類似したものを予定しています。
 - エントリーをした方に対し、**10月12日（土）**に一斉に事前課題についての詳細をメールにてお送りします。
3. 選考結果 <10月31日（木）>

応募者全員にメールにて可否通知を行います。合格された方で、未成年の方は保護者同意書を送っていただきます。チームで1つロゴを大学に許可をもらって送ってもらいます。
4. 打合せ <11月中>

参加にあたっての諸事項を確認するため、スカイプまたは電話にて打合せを行います。
(APU学生は対面で行います)
5. オンラインでの特別講義受講（任意） <11月中>

立命館アジア太平洋大学教授陣の特別講義をオンラインで公開します。
任意での事前準備としてご活用ください。（公開先：JBCCホームページ URL <http://apu-jbcc.com>）
6. 大会当日 <12月6日（金）～ 8日（日）（6日は移動日）>

APU Japan Business Case Competition 2019に出場していただきます。
7. HSBC/HKU Asia Pacific Business Case Competition 2020へ出場（優勝チームのみ）
<2020年5月下旬または6月上旬（予定）>



7. 主催大学、開催地について

＜主催大学：立命館アジア太平洋大学（APU）について＞

立命館アジア太平洋大学（APU）は大分県別府市にある私立大学です。

2000年に創立され、『自由・平和・ヒューマニズム』『国際相互理解』『アジア太平洋の未来創造』を基本理念に据え、現在80を超える国と地域から5,700名以上の学生が在籍しています。

APUはその特色の1つとして、英語と日本語による言語教育システムを持ち、開講科目の全てが日英どちらでも履修可能な体制が整っており、全学生が日本語と英語のいずれの言語でも専門教育を受けられるレベルの言語運用能力を涵養しています。創立からわずか15年の平成26年度に、文部科学省の「国際化拠点整備事業」における「スーパーグローバル大学創成支援校」に採択され、更なる国際化を進めています。



<開催地：別府（大分県）>

2,500以上もの源泉を有する大分県別府市。温泉湧出量はアメリカのイエローストーン国立公園に次いで世界第2位、日本では堂々の第1位です。世界にある11の泉質のうち10が湧き出ており、それぞれ泉質の異なる別府、鉄輪、観海寺、明礬、亀川、柴石、堀田、浜脇を総称し、「別府八湯」と呼んでいます。

蒸湯、砂湯に加え、世界最大級の泥湯もあり、さまざまな入浴法が体験できるほか、温泉熱や噴気を利用した「地獄蒸し料理」も有名です。そんな日本の温泉文化の重要な発信地である別府には、年間を通じて国内外から多くの観光客が訪れます。



8. お問い合わせ先

APU Japan Business Case Competition 2019

メールアドレス：2019jbcc@gmail.com

ウェブサイト：<http://apu-jbcc.com/jbcc2019/competition/>

JBCC代表

立命館アジア太平洋大学 国際経営学部

真田 優斗 (サナダ ユウト)

電話番号：080-7984-8370

立命館アジア太平洋大学

スチューデント・オフィス

電話番号：0977-78-1104

メールアドレス：stueca@apu.ac.jp

ウェブサイト：

http://www.apu.ac.jp/home/event/view/?event_id=1809